

インフルエンザ(2026年第14週)疫学情報

《コメント》

2026年第14週の定点当たり報告数は3.21(患者報告数12,086)となり、前週の定点当たり報告数6.46よりも減少した。都道府県別では北海道(8.66)、長野県(7.68)、富山県(6.98)、沖縄県(6.64)、山形県(6.51)、鳥取県(6.41)、石川県(6.19)、新潟県(5.91)、岩手県(5.74)、福井県(5.56)、島根県(5.05)、愛媛県(5.00)の順となった。47都道府県で前週の報告数より減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は142例であり、前週(219例)から減少した。36都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(15例)、1～4歳(29例)、5～9歳(32例)、10代(13例)、20代(1例)、30代(5例)、40代(6例)、50代(7例)、60代(4例)、70代(13例)、80歳以上(17例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近5週間(2026年第10週～2026年第14週)では、B型が302件(99%)、AH1pdm09が2件(1%)、AH3亜型が1件(0%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。